

令和2年度 第2回ソフィア発見講座より

幼児教育と義務教育の地平 ～子供の絵から教育の方向性を読み解く～

磐田市立豊岡中学校
鈴木英司先生

去る11月18日(水)、夕方からの開催にもかかわらず、袋井・森地区、磐田地区の保育園・幼稚園・こども園、小・中学校等の多くの先生方の御参会をいただき誠にありがとうございました。

英司先生から学ぼうと、多数の幼児教育関係者と小中教員が一堂に会する大変有意義な発見講座となりました。

分かりやすく美しいスライドに、子供の絵の豊富な実例、英司先生の人柄がにじみ出た温かなお話で、皆幸せな気分になることができました。



これからの保育・教育の展望…
Keyword は個別最適化の充実(一人一人の成長を今まで以上に保障すること)です。

子供の学びの芽生え・学びの充実に向けた個別最適化された援助、支援・指導の充実が求められています。

個別最適化とは、園児・児童・生徒には、その時期にしか育たない資質・能力があり、子供たちの発達段階に応じて、適切に援助、支援・指導していくことです。これまでの保育や教育において、個々の発達を超えた指導を見直し、目の前の子供の今に適切に寄り添っていきましょう。

**ありのまま、生のままが素晴らしい
先生がゴールを決めなくてもよい**

子供の発達を超えた表現を子供に求めすぎたあまり、表現方法や技能に指導が偏っていなかったか？
あの先生が指導すると、すごい作品が出てくるよね…
見栄えのよい作品を出品しないと…

幼小連携に尽力した東京都の小学校長のことば

「連携・接続に上下なし」
幼児教育を小学校教育の準備教育と考えない

保・幼・小の各園では、子供たちの興味・関心を伸ばし、生きる力の基礎(学びの芽生え)を育むという役割があります。同様に小学校でも生きる力を育むという役割があります。
保育や教育で育んでいる力を理解して、保・幼・小・中学校教育が結びついていく必要があります。

リレーのバトンパスと同じ

子供の絵は、単に絵としてだけでなく、幅広い教育活動の一環としてとらえる必要があります。

子供の絵は、一年間の教育活動の中から生まれます。このため、その絵からは地域とつながりをもって行われている各園の保育や小中学校の学びの様子等、行事を通して子供が育っている証拠が見えてきます。

(子供の絵は、自園・自校のカリキュラムの成果を可視化している証明書となっている)

各園・学校では、季節・自然の実り・風物・日本の文化的行事など、園・学校をとりまく様々な教育的資源(ひと・もの・こと)を有効活用しながら、保育・教育が展開されています。子供の絵を通して、教師の援助、指導・支援の振り返りも可能です。

国の動き

幼稚園が伝統的に深めてきた子育ての方法をそのまま小学校から大学まで一貫させる。

幼稚園等が中心的に育ててきたものは…
資質・能力…思考力、意欲、社会スキル等(コンピテンシー)

小学校以降の教科等の学力についても、コンテンツ(知識・技能)だけでなく、コンピテンシー(活用する力)から見直しを行う。(小：R2、中：R3から全面实施)

どのように問題解決を成し遂げるか、過程が大切にされ始めた
各国では、保育の質の充実が一層進み始め、小中学校においても授業改善・指導改善が強く求められるようになります。

予測不可能な変化の激しい社会を生き抜くための力の基礎づくり

探究心や思考力、表現力、感情のコントロール、粘り強さ(がまん強さ)等

非認知的能力

音声の響きやリズムに気付く
生活に必要な言葉を分かったり使ったり
様々な色や形に気付いたり感じたり
場面に応じて体の諸部位を十分に動かす

生活や学習の基盤づくり

より豊かな体験を

「自己有用感」は、他者からもたらされます。子供たちのよさをたくさん認め、価値付けていくことで、自己有用感が育ち、誰かを幸せにできる自分のことを、肯定的に受け止められるようになります。(自己肯定感の芽生え)

教育者や家族の言葉掛け一つで子供の成長を大きく左右します。

子供の姿や教育環境から読み解く

○教員の深い子供理解、見落とした成長の発見

○保育と教育の見える化

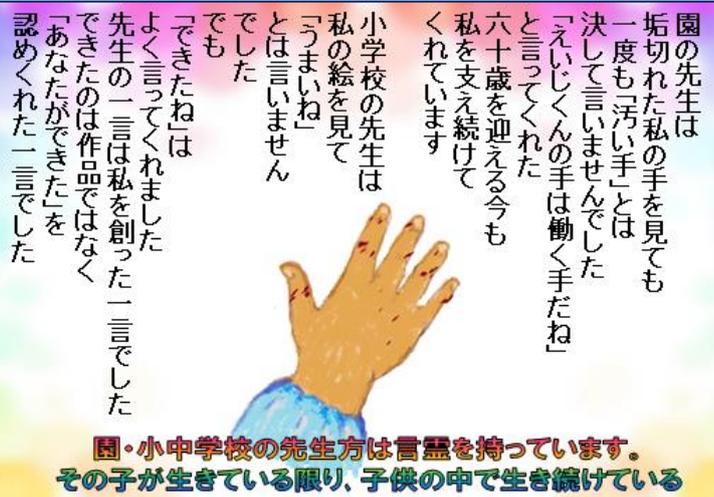
- ・高まっていくところを的確に捉えたい。
- ・保育、教育の理解、環境の再構成・援助への道筋
- ・親が園・学校教育を理解：わが子の発達を把握

講師より

<講座で紹介しなかったスライドですが…>
私自身、小さい頃から多くの先生の言葉に支えられて、大人になることができました。

これまで掛けてもらった言葉のように、これからを生き抜く子供たちへ温かな言葉やその子の心に届く言葉を掛け続けていきたいと思っています。

お忙しい中、御参加いただき感謝申し上げます。
鈴木英司



園の先生は
垢切れた私の手を見ても
一度も「汚い手」とは
決して言いませんでした
「えいじくんの手は働く手だね」と言ってくれた
六十歳を迎える今も
私を支え続けて
くれています

小学校の先生は
私の絵を見て
「うまいね」とは
言いません
でも
「できたね」は
よく言うてくれました
先生の一言は私を創った一言でした
できたのは作品ではなく
「あなたができた」を
認めくれた一言でした

園・小中学校の先生方は言霊を持っています。
その子が生きている限り、子供の中で生き続けている